



たか はし み き
高橋 美樹 校長先生

慶應義塾の理念をもとに 独自の教育方針を設定

慶應義塾の一貫教育校として、大学受験にとらわれない多彩な学びを展開する慶應義塾志木高等学校。2023年に迎える創立75周年に向けて、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」を掲げ、様々な教育をさらに発展させていきます。

1948年に慶應義塾農業高等学校として開校し、1957年に現在の普通科となった慶應義塾志木高等学校（以下、慶應志木）。

慶應義塾の創立者である福澤諭吉が掲げた「慶應義塾の目的」（慶應義塾で学ぶ塾生や塾員が日本の「気品の源泉」「智徳の模範」とな

ることをめざす）、「独立自尊の精神」（「自他の尊厳を守り、何事も自分の判断・責任のもとに行う」）に基づいた慶應志木独自の教育方針として、①塾生としての誇りを持たせること、②基礎的な学問の習得、③個性と能力をのばす教育、④健康を積極的に増進させること、の4つをあげています。そのなかの②「基礎的な学問の習得」に関して、高橋美樹校長先生は次のように説明されます。

「『基礎的な学問』は、『基礎知識』と混同されがちですが、『型』や『定石』という意味合いの強い後者と異なり、前者は観察や推論、応用に重きをおいた学び、すなわち『実学』を意味します。本校では、『事実を正確に把握』（観

察）したうえで、『事実がなぜ起こるのか自分なりに説を作り』（推論）、『その結果得られた理論を実社会に活用する』（応用）という『実学の精神』を養成することをめざし、特色ある教育を実践しています」（高橋校長先生）

そんな慶應志木は、2023年に創立75周年を迎えるのに際し、新たにめざすべき教育の指針として「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」を掲げました。「『数理と独立』の『数理』とは、先ほど述べた『実学』のことをさします。

「これまで、校内での人と人のかかわりはもちろん、地域や諸外国の人々との交流も、個人の成長を促すものだとして大切にしてきました。そうした多様な『交際』をさらに充実させていきたい。自然科学、人文科学、社会科学という幅広い分野において『実学』をベースにした教育をよりいっそう進めていきたい。そして、生きるうえで必要不可欠な知的・精神的

な『独立心』の養成にも力を入れていきたい。これらの思いをまとめたものを1つのコンセプトとして定めました」（高橋校長先生）

興味・関心に応じた 多種多様な学びが魅力

大学受験にとらわれない幅広い教養を身につけられるカリキュラムを用意している慶應志木。

授業について高橋校長先生は、「各教員は工夫を凝らした授業を実施しており、国語では村上春樹の小説を読んでそれぞれの解釈を発表しあったり、理科では大学レベルの実験やレポート作成に挑戦したりと、自分で考えたことを表現する機会が多いのが特徴です」と話されます。

なかでも特筆すべきは高3で履修する「自由選択科目」。20以上の科目のなかから各自が興味・関心に応じて好きな授業を選択し、少人数で多様な取り組みを実践していきます。「日本語特論…ことばを楽しむ」「情報処理…プレゼンテー

創立75周年に向けて さらなる発展を遂げる 慶應義塾の一貫教育校



埼玉県 志木市 ● 男子校

けい おう ぎ じゅく し き
慶應義塾志木高等学校

所在地：埼玉県志木市本町4-14-1
アクセス：東武東上線「志木駅」徒歩7分
生徒数：男子のみ770名
TEL：048-471-1361
URL：<http://www.shiki.keio.ac.jp/>

- 1学期制
- 週6日制
- 月～金6時限、土4時限
- 50分授業
- 1学年6クラス
- 1クラス40名

シオンとプログラミング「地学」日本の四季の天気―天気予報のための読図と予報」など、じつにバラエティに富んだ授業のうち、例として2つの授業をご紹介します。

「社会A」では、「日本文化基礎のキソ―五感で楽しむ日本の伝統文化―」と題して、茶の湯や庭園、絵巻物といった日本文化への理解を深める授業を展開しています。『五感で楽しむ』という副題の通り、様々な体験ができるのが魅力で、茶の湯の実習を行った年は、成果披露を兼ねて収穫祭（文化祭）

で茶寮を開き、点てたお茶を来校者にふるまいました。

また、『社会C』では、起業をめざしてビジネスプランを考案する『エコノミックワークショップ』を開講しています。ある生徒は授業を通して生み出したビジネスプランを東京都主催の『TOKYO STARTUP GATEWAY』というコンテストに応募し、高校生で唯一決勝大会に進みました。惜しくも入賞は逃しましたが、のちに^{*}塾長賞を受賞しました。この結果は、1人ひとりの個性を伸ばす少人数教育の賜物だと感じています」（高

※慶應義塾の一貫教育校のうち、学術・芸術・社会活動などの分野において、模範となるべき活躍を収めた生徒に贈られる賞



希望者を対象とした慶應志木独自のプログラムとして、台湾、オーストラリア、フィンランドの学校と国際交流を行っています。どのプログラムも実施は夏休み中で、短期留学として現地を訪れ、世界を体感していきます。

運動会

男子校ならではの迫力を見せるトラック競技、フィールド競技に加えて、趣向を凝らしたクラス対抗仮装行列も行われます。



台風の目
綱引き



騎馬戦



クラスマッチ



志木の森ツアー



入学式



熱く盛り上がるライブ

鉄道研究会による模型の展示



収穫祭(文化祭)

生徒主体で企画・運営がなされる収穫祭（文化祭）は、クラスやクラブ、有志による企画・模擬店で、毎年とても盛り上がります。



ワグネル・ソサイエティー男声合唱団のコンサート



器楽部のコンサート

その他の行事

収穫祭と運動会以外にも、OBによって寄贈された「志木の森」（三重県）で森林の調査やアクティビティーを楽しむ「志木の森ツアー」をはじめ、多彩な行事があります。

橋校長先生)

海外に目を向ける取り組みや 課題解決型の研修も特徴的

慶應志木ならではの取り組みはまだあります。高2の「総合的な探究の時間」では、異文化理解のために、「アイヌ文化に触れる」「サンスクリット語の世界」「スペイン語圏（南米の文化）」など、24講座のなかから好きな講座を前期と後期で1つずつ選び、言語を通じてその国の文化や歴史なども学びます。

さらに、週に1回、「語学課外講座」も開かれています。こちらは高1・高3の希望者対象で、先の「総合的な探究の時間」と比べ語学の学習がメインとなります。学べる言語はアイヌ語、アラビア語、インドネシア語、中国語、韓国語、ベトナム語、ヘブライ語など、例年20前後と豊富です。

国際交流も盛んで、慶應志木独自のプログラムとして、オーストラリアのトゥーンバ・グラマー・

を受けたり、山形県の慶應大先端生命科学研究所（IAB）を訪問する研修などが実施されています。

「例えば薬学部の見学会では、大学生といっしょに漢方を調合するなど、実際に大学での学びを体感する機会も設けています。そうしたことを体験するなかで、自分が持っていたイメージとの相違点を理解し、より具体的に将来を考えていってほしいと考えています」

（高橋校長先生）

豊かな自然に囲まれたキャンパスで、3年間伸びのびと過ごせる慶應義塾志木高等学校。2023年以降には、小ホール（1学年約300名収容）、和室、展示ホール、少人数教育用教室群を組み込んだ多目的棟が建設予定で、施設も充実の一途をたどります。最後に高橋校長先生からみなさんへメッセージをいただきました。

「生徒たちには『様々なことに主体的に挑戦しながら、自分を愛する心を育んでほしい』と話しています。（自分を愛する心）というの



スクール、台湾の薇閣雙語高級中学、フィンランドのルオスタリヴオリ・ルシオン高校との交流プログラムを用意。そのほか、世界各国の高校生がハワイに集まり、あるテーマについて討論するSGLI (Student Global Leadership Institute) に参加する生徒や、慶應義塾一貫教育校派遣留学制度を

活用して、アメリカやイギリスへ留学する生徒もいます。

また、高1・高2では「研修旅行」があります。高1の行き先は神奈川県三浦半島（2泊3日）、高2の行き先は長野県諏訪市や新潟県糸魚川周辺（3泊4日）で、どちらもあらかじめ設定したテーマについて現地で調査・探究し、結果を

クラブ活動

充実した施設・環境を活かして、18の運動部、11の文化部が熱心に活動しています。大学受験がないからこそ、クラブ活動にも3年間しっかり取り組みます。

写真提供：慶應義塾志木高等学校

研修旅行・見学旅行

高1・高2は本文中でも触れた「研修旅行」へ。高3は関西・四国方面の名所を3泊4日でめぐる「見学旅行」を実施します。

1	3	5
2	4	6

1 高1・研修旅行 2,3 高2・研修旅行 4~6 高3・見学旅行

自分と向きあい 自分を愛してほしい

レポートにまとめる、という「課題解決型学習」の一環として行われている伝統的な行事です。なお、ここまで紹介した特色ある授業や取り組みを通して生徒が学んだことや感じたことは、毎年『櫟』という冊子にまとめられます。研究論文から美術作品にいたるまで、生徒の多種多様な学習の成果が掲載されている『櫟』を読めば、慶應志木ではいかに生徒の個性を尊重する教育が行われているかわかります。

「慶應義塾大学（以下、慶應大）への進学を前提とする本校では、進学指導はキャリア教育と連動させながら行っています」と高橋校長先生が語られるように、将来を考えるためのイベントとして、卒業生をはじめ、社会の第一線で活躍する方々を招いて行う「志木演説会」、慶應大の各学部を訪問し、「学部説明会」や「模擬講義授業」

は詩人・吉野弘さんの言葉です。へ自分を愛する心」を育むために必要なのは、自分が好きなことはなにか、得意なことはなにか、自分がやりたいことを通してどのように社会に貢献していくのか…などを自問自答することです。

一般の受験生はどのように自問自答しながら自分と向きあう余裕はないかもしれませんが、一貫教育校の本校なら、時間的余裕は十分にあります。自分自身ときちんと向きあつたうえで、大学、その先の社会も含めて自分の人生をデザインし続けることのできる生徒さんを待っています」（高橋校長先生）

■ 2019年3月卒業生 慶應義塾大学進学状況	
学 部	進学者数
文学部	18
経済学部	73
法学部	74
商学部	30
医学部	7
理工学部	37
総合政策学部	1
環境情報学部	0
看護医療学部	0
薬学部	2
他大学受験など	1
計	243